

答 申 書

平成21年8月7日

宇都宮市河内自治会議

1 はじめに

平成19年3月に旧河内町が宇都宮市に合併して2年が経ち、河内地域の住民に
もしいに新市としての一体感が醸成されつつあります。また、今年1月には、河
内地域にもまちづくり協議会が設立され、地域住民の手によるまちづくりが進めら
れようとしており、河内地域の新しい歴史がスタートしたと感じています。

合併後に設置された河内自治会議も最初の委員の2年間の任期が終り、第2期の
委員により今回の答申の検討を進めて参りました。

旧町とともに策定した合併市町村基本計画における12事業の多くは、現在す
でに着手または検討が進められており、河内総合運動公園整備事業のように、事業完
了が目前に見えてきたものもあります。一方、地域自治拠点整備事業や小中学校プ
ール整備事業など、今後どのように進められていくのか見えていない事業があるこ
とも確かです。

昨今の経済事情により、市の財政も厳しいことは理解しますが、先人により培わ
れてきた歴史や文化、そして水と緑の自然が豊かな河内地区が、宇都宮市が目指す
ネットワーク型コンパクトシティの中の地域拠点の1つとして、更に住みよい地域
になっていくため、今後とも、計画的にこれら事業を進めていくことを切に願うも
のであります。

2 「地域別計画における主要施策事業」について

① 道路新設改良事業

(執行状況)

		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
事業内容	市道 20216 号線	改良工事	改良工事【完了】	【整備済】
	市道 20042 号線	道路測量・設計, 用地測量	用地買収, 物件補償	用地買収, 物件補償
	市道 20065 号線	用地買収, 物件補償	改良工事	—
	市道 20227 号線	道路測量・設計	用地買収, 物件補償, 改良工事	—
	市道 20271 号線	改良工事	改良工事	—
	市道 20299 号線	用地買収	改良工事	—
	市道 20061 号線	道路測量	用地買収	—
	市道 20354 号線	未着手	未着手	未着手

(意見)

計画されている 8 路線のうち 1 路線の工事が完了し、残りの 7 路線も計画的に工事が進められています。これらの 8 路線は、河内地区内でも特に道路整備が必要な場所として、旧町から引き継がれたものですが、それらの中でも順位づけをして進めていくことが必要です。特に、通学路については、児童・生徒の安全を考慮した整備を進めていく必要があります。

また、現在計画されている 8 路線以外についても、例えば、下岡本町から御幸ヶ原町に通じる道など旧市町境付近の道路整備など、合併した効果を示すことのできる路線の整備について、今後は更なる事業計画が必要です。

② 公共下水道整備事業

(執行状況)

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 公共下水道污水管渠築造工事（中岡本町外）整備面積 25.9ha 奈坪中継ポンプ場建設工事 大塚中継ポンプ場基本設計 	<ul style="list-style-type: none"> 公共下水道污水管渠築造工事（白沢町外）整備面積 21ha 河内水再生センター増設実施計画 奈坪中継ポンプ場建設工事 	<ul style="list-style-type: none"> 公共下水道污水管渠築造工事（上田原町外）整備面積 22ha 河内水再生センター増設工事 奈坪中継ポンプ場建設工事
普及率（決算） ※公共・特環	河内地区 40.5% 旧市 86.0% 全市 81.7%	河内地区 45.4% 旧市 86.1% 全市 82.3%	—————

(意見)

河内地区内では公共下水道の工事が計画的に進められていることにより、処理区域が順次広がっています。また、3月に認可区域が拡大されたことにより、今後更に公共下水道が利用できる世帯が増え、一層の生活環境の改善が進む期待があります。

しかし、河内地区の公共下水道の普及率は、旧市と比較して低い状況にあることから、旧市域の普及率に近づけるよう、認可区域内については今後も積極的な下水道整備が必要です。

③ 地域自治拠点整備事業

(執行状況)

・地域自治制度の検証を踏まえ、規模等を検討中

(意見)

施設や駐車場の効率化の観点と施設の高機能化により、拠点性を高めるためには、地域自治センターと生涯学習センターを併設することが望ましいと考えます。

地域自治センターが進めるまちづくりと生涯学習センターが進める人づくりを一体的に進めることにより、より良い地域づくりにつながると考えます。

なお、地域の行政機関の機能・規模・位置などを整理するに当たっては、地域の実状や地域住民の声に配慮した利便性の高い施設とする必要があります。

今後は、両施設の整備についての考え方を早急に整理し、すみやかに施設整備を進める必要があります。

④ 小・中学校校舎整備事業

(執行状況)

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
事業内容	田原小（耐震補強及び大規模改造 実施設計）	田原小（耐震補強及び大規模改造 工事完了）	岡本小，岡本西小，古里中，田原中（2次診断）

(意見)

全市的に耐震補強が進められていますが、学校は子どもたちの生活の場のみならず、万が一の際に地域住民の避難所にもなることから、今後も積極的な事業実施が必要です。また、校舎等の耐震補強に併せてトイレを含めた大規模な修繕が行われています。

施設的环境は、子どもたちの学校生活において非常に重要ですので、今後とも施設の改善を積極的に進める必要があります。

⑤ 小・中学校体育館整備事業

(執行状況)

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
事業内容	—	岡本西小（耐震補強実施設計）	岡本西小（耐震補強工事） 田原中（2次診断）

(意見)

全市的に耐震補強が進められていますが、学校は子どもたちの生活の場のみならず、万が一の際に地域住民の避難所にもなることから、今後も積極的な事業実施が必要です。

⑥ 小・中学校プール整備事業

(執行状況)

・全市的な検討に基づき、順次整備を検討

(意見)

プール整備事業については、整備計画が未策定のため、今後は、プールを整備するための基本的な考え方を整理したうえで、具体的な計画を策定し、事業を進める必要があります。

⑦ 中央公民館改修整備事業

(執行状況)

・再整備の考え方を踏まえて、整備内容を検討

(意見)

施設や駐車場の効率化の観点と施設の高機能化により、拠点性を高めるためには、地域自治センターと生涯学習センター（中央公民館）を併設することが望ましいと考えます。

地域自治センターが進めるまちづくりと生涯学習センター（中央公民館）が進める人づくりを一体的に進めることにより、より良い地域づくりにつながると考えます。

河内生涯学習センター（中央公民館）では、地域住民による生涯学習活動が活発に行われていることから、今後も生涯学習が推進される体制を確保することが必要です。

今後は、両施設の整備についての考え方を早急に整理し、すみやかに施設整備を進める必要があります。

⑧ 総合運動公園整備事業

(執行状況)

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
事業内容	造園工事（整地，雨水排水管整備） 電気設備工事（電線配管，照明塔基礎） 機械設備工事（給水配管）	造園工事（移植，駐車場整備，園路広場等） 電気設備工事（照明塔本体等）	造園工事（園路整備，バックネット整備，グラウンド整備等） 電気設備工事（放送設備等） 機械設備工事（散水設備） 【整備完了予定】

(意見)

総合運動公園整備事業は、旧町の計画から2年前倒しして進められており、平成21年度中の工事完了が予定されていますので、地域住民は期待感を持っています。

将来は、市民が気軽にスポーツに親しむことができるよう、利用実態や市民ニーズ、全市的な施設配置を勘案して、必要な施設の拡充を検討することが望まれます。

⑨ 岡本駅西土地区画整理事業

(執行状況)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度
事業内容	都市計画道路築造工事 整地工事	仮換地指定 (38,261 m ²) 物件移転補償 (47 棟) 道路築造工事 (455m) 整地工事 (2,572 m ²)	仮換地指定 (約 55,000 m ²) 物件移転補償 (82 棟) 道路築造工事 (約 1,580m) 整地工事 (約 27,000 m ²)
進捗率	26.4%	29.9%	37.3%

※特別会計事業費 (22,700百万円) に対する進捗率

(意見)

岡本駅西土地区画整理事業については、長期間にわたる事業ですが、予算の増額や職員の増員などにより精力的に取り組んでおり、事業が着々と進んできています。岡本駅周辺は都市計画マスタープラン全体構想において、地域交流拠点の一つに位置づけられていることから、今後も積極的な事業実施が必要です。

⑩ 岡本駅前周辺整備事業

(執行状況)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度
事業内容	JR東日本との協議	JR東日本との協議 駅西土地区画整理事業との調整	岡本駅周辺地域整備基本計画策定のための調査

(意見)

岡本駅前周辺整備事業については、JR東日本の他駅の整備との関係や岡本駅西土地区画整理事業との関係があることから、単独で事業を進めることができないことは承知していますが、現在までにその実施の内容やスケジュール等が示されていません。岡本駅周辺は、都市計画マスタープラン全体構想において、地域交流拠点の一つに位置づけられていることから、早期に基本的な考え方をまとめる必要があります。

⑪ 農村公園等整備事業

(執行状況)

・必要な機能・設備について検討中

(意見)

現在までに事業の実施内容やスケジュール等が示されていないことから、公園にどのような機能と設備を持たせるか、住民を交えて検討する場を早期に設け、市民協働により公園のイメージを作り上げることが必要です。

⑫ 農道整備事業

(執行状況)

事業内容	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
下ヶ橋河原地区	2 地区 (544.5m)	2 地区 (323.8m 【完了】)	【整備済】
下田原南部地区	4 地区 (1,898m)	4 地区 (1,031.5m)	5 地区 (1,305m)

(意見)

農業は、河内地区にとって重要な産業であるため、その生産性向上と農業経営の合理化のための農道整備が毎年計画的に進められています。

下ヶ橋河原地区は、平成 20 年度で完了していますが、下田原南部地区については、今後も計画的に整備を進めることが必要です。

～～ 審議の経緯 ～～

- 平成21年4月10日 平成21年度第1回宇都宮市河内自治会議
- ・ 市長から「合併市町村基本計画の執行状況について」諮問
 - ・ 合併市町村基本計画の執行状況について調査審議
- 平成21年5月19日 第2回宇都宮市河内自治会議
- ・ 合併市町村基本計画の執行状況について調査審議
- 平成21年6月19日 第3回宇都宮市河内自治会議
- ・ 合併市町村基本計画の執行状況について（答申骨子について）
- 平成21年7月24日 第4回宇都宮市河内自治会議
- ・ 合併市町村基本計画の執行状況について（答申案について）

～～ 河内自治会議委員 ～～

会	長	中	村	祐	司
副	會	山	根		登
委	員	伊	藤	昭	博
委	員	大	田	加	久
委	員	菊	地	久	美
委	員	小	嶋	由	美
委	員	駒	田	静	雄
委	員	櫻	井	清	一
委	員	渋	井	ト	ミ
委	員	清	水	康	弘
委	員	五	月	勝	正
委	員	五	月		純
委	員	手	塚	米	子
委	員	中	西	幸	子
委	員	永	見	幹	夫
委	員	西	岡	隆	義
委	員	福	田	義	雄
委	員	前	野		巖
委	員	松	谷	悦	広
委	員	森	本	喜	美